

プログラムののご案内



「日本手話」

「手話通訳」

「ろう教育」



群馬大学手話サポーター養成プロジェクト室では手話教育、手話通訳養成、ろう教育について、**ここでしか学べない**プログラムを提供しています。

ろう者の教員が、授業の担当に加え指導法や教材開発を行なっている点にも大きな特徴があります。

手話サポーター養成プログラム

1年次

手話奉仕員養成コース

言語としての日本手話I・II(全学対象)

2~3年次

手話通訳者養成コース

日本手話と日本語の違いを学ぶI・II・III
(共同教育学部対象)

1年間で日本手話を習得

手話奉仕員資格を取得するには、コース修了後、市町村での認定手続きが必要です。手話奉仕員資格を運用していない場合であっても、一般的には都道府県で実施する手話通訳者養成講座の受講資格が得られます。

到達
目標

1年半で手話通訳の 基礎スキルを習得

コース修了をもって、各都道府県登録手話通訳者認定試験(手話通訳者全国統一試験を含む場合もあり)の受験要件を満たします。



金澤 貴之

群馬大学 共同教育学部
特別支援教育講座 教授
プロジェクト室 室長



中野 聡子

群馬大学 共同教育学部
特別支援教育講座 准教授



下島 恭子

群馬大学 共同教育学部
特別支援教育講座 助教

プログラムを修了した後は?

聴覚特別支援学校教員に求められる手話を用いた教育実践力を磨くための授業を開講しています。また、盲ろう者向け通訳・介助員の資格を取得するための授業も設けています。

4年次

- SDGs総合演習:日本手話を活用した聴覚障害児者支援の実践
- 聴覚障害教育演習C(ろう重複障害児向けの指導技術の習得)
- 聴覚障害教育演習D・E(厚生労働省盲ろう者向け通訳・介助員養成課程相当)

学生手話サポーターの活動

手話を学んだ学生たちは、「手話サポーター」として、学内のさまざまな活動に参加しています。



講義「手話とろう文化」のオープニング



学生YouTuberが作成した動画

後期も丸々ですね (全部通訳練習)



ウクライナろう避難者の交流会で手話通訳

詳しくは
こちらから





文部科学省職業実践力育成プログラム 日本手話実践力育成プログラム

- CEFR A2以上-B1レベルの日本手話運用力
- 1,500語以上の手話語彙
- 日本手話の基本文法の理解・産出
- 聴覚障害者の生活や社会に関わる基礎知識

到達 目標

- CEFR B2レベル以上の日本手話運用力
- 3,500語以上の手話語彙
- 日本手話と日本語の意味的等価性を保持した正確な通訳力
- 通訳者としての職業倫理に則った効果的な判断と行動
- 手話通訳者の理念と仕事、健康管理に関わる知識

ベーシックコース

厚生労働省専門実践教育訓練指定講座

アドバンスコース

各コース修了により、デジタル修了証(オープンバッジ)を発行

その他の講座は?

公開講座

詳しくは
こちらから



群馬大学の日本手話・手話通訳・ろう教育の授業の一部を体験することができます。オンラインまたはオンデマンドで実施しますので、全国どこからでも受講できます。学生の方は無料です。

ライブ感をお楽しみいただける同時双方向型の **オンライン公開講座**

- 授業後、1週間限定で見逃し配信あり。
- 期間中、全9回の講義となります。

社会人の方でもライフワークにあわせて受講可能な **オンデマンド公開講座**

- ご自身の都合の良い時間に学習できます。
- 音声通訳・手話通訳・文字通訳がついています。
- 使いやすいe-ラーニング用システム(LMS)にログインするだけで受講できます。

開講科目例	手話スキル	ろう児者支援・手話通訳のための知識(講義)	
	手話とろう文化	ソーシャルワーク論	聴覚障害の理解
	日本手話の文法	遠隔時代の手話通訳	ろう重複

免許法認定通信教育

詳しくは
こちらから



特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)を取得したい方、聴覚障害児教育の専門知識を深めたい方のための通信教育です。

本通信教育の特徴

- 1 聴覚障害の医学的・心理学的な知識が学べる
- 2 一種免許の申請に必要な単位を取得できる
- 3 オンデマンド配信の講座で自由な時間に学べる
- 4 「ろう重複」について専門的に学べる
- 5 大学院進学のための一種免許取得を目指す

開講科目

- 聴覚障害児の心理・生理及び病理
- 聴覚障害児の教育課程と指導法
- 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育



受講生の声

学生

実践的なトピックを通して、手話の表現だけでなく、ろう者の文化や生活についても楽しく学ぶことができました。

(手話奉仕員養成コース・医学部1年)

ただ直訳しても上手く伝わらないという、日本語と日本手話の言語としての違いをとっても感じました。

(手話通訳者養成コース・共同教育学部2年)

手話の基礎から通訳技術まで、ろう者の先生から丁寧な指導を受けたおかげで、手話通訳者全国統一試験に合格できました!

(手話通訳者養成コース・共同教育学部3年)

盲ろう通訳介助の講義では、触手話や点字、介助歩行について盲ろう者と実際に関わりながら学び、貴重な経験をさせていただきました。

(共同教育学部卒業生)

社会人

とにかく随所での先生方の工夫を感じます。オンライン授業の講義記録動画を自分のペースで予習・復習に活用できるのも大きな魅力です。

(ベーシックコース)

社会人の手話学習者にとって、日本手話・手話通訳について体系的に指導を受けられる機会は貴重です。

(アドバンスコース)

通訳についてなかなか基本的な学習をする場がなく、この講座は大変勉強になりました。

(公開講座・日本手話の文法)

ろう学校の赴任にあたり「新しいことを学習しなければ!」という責任感や切迫感を感じていました。そんな私にとってタイムリーな研修となりました。

(免許法認定通信教育)

スタッフからのメッセージ

日本手話をやってみたいけど難しそう…と思っているみなさん、ろう教育についてろうの当事者でもある教員から学んでみたいと思っているみなさん、手話サポーター養成プロジェクト室のプログラムにチャレンジしてみませんか。



公式SNS

手話サポーター養成プロジェクト室からの情報は二次元バーコードからご覧下さい。



YouTube



instagram



facebook



X(旧Twitter)

お問い合わせ

群馬大学共同教育学部手話サポーター養成プロジェクト室

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4丁目2番地

TEL:027-220-7157(直通) FAX:027-220-7390

E-mail:signstaff@ml.gunma-u.ac.jp

<https://sign.hess.gunma-u.ac.jp>

